

交通安全教育DVD／一般向け
約19分

推薦
一般財団法人 全日本交通安全協会

交差点事故多発の「なぜ？」

～死角に隠れた危険を予測する～



企画意図

交通事故発生の大きな原因のひとつに、ドライバーの死角の問題があります。死角には車の構造上どうしても生じてしまうもの、街の中の駐停車車両や植え込み、看板などから生じるものがあります。特に、交差点の通行時においては、多くの死角が存在していると認識しておくことが、安全運転には欠かせません。交差点の死角に潜む危険を予測してハンドルを握ることが、すべてのドライバーに求められているのです。

本作品では、交差点の中で具体的にどのような死角があるのか、どうすれば事故を回避できるのか再確認し、事故防止を訴えかけます。この映像によって、一人でも多くのドライバーが、死角に対する正しい認識を持ってハンドルを握り、安全運転を心がけていただけることを願います。

映学社作品

一般向け／約19分

交差点事故多発の「なぜ？」

～死角に隠れた危険を予測する～

作品の概要

■非常に危険な「交差点」

交通事故件数を道路形状別で見た場合、半数以上を占めている「交差点及び交差点付近の事故」。今回はそこに焦点を当て、事故の一因ともなる様々な「死角」の危険性を中心に取り上げ、安全運転のためのポイントについて考える。

■ドライブレコーダー映像で見る死角の事例

交差点の通行時においては、多くの死角が存在する。ドライブレコーダーの映像で衝突場面の事例を見ながら、事故の危険性を確認していく。

信号機のある交差点を右折する際に起きた
「サンキュー事故」

対向車線の安全確認はもちろん、対向車線が渋滞している場合や、右折待ちの対向車がある場合、対向車に隠れて見えないバイクなどを予測し警戒する。そしてより慎重に、焦らず、急がず右折することが重要だ。

右折先の横断歩道を車と同じ方向に通行する歩行者と
接触した事故

この事例に共通する問題点は、「交差点をショートカット気味に右折」「速度が出ている」点である。

右折するときは、あらかじめできるだけ道路の中央により、交差点の中心のすぐ内側を徐行する。また、対向車線に対する慎重な安全確認のほかに、右折先の横断歩道上やその周辺に対しても、安全確認を行うことが大切である。

自動車が左折する際

車の左側を走っていた自転車やバイクと接触した事故

交差点の左折時においては、あらかじめ左側端に車を寄ること、そして左側後方に対する安全確認は、必ず目視で確認することが基本である。

信号機のない交差点で

自転車と衝突しそうになった事故

油断せず、常に正しい一時停止を実践し、出会い頭の事故を起こすことがないよう、十分注意する。また、一時停止標識の有無に関わらず、見通しの悪い交差点では、交差道路に対する危険の予測と、死角を意識した安全確認の徹底が必要だ。

見通しの良い交差点で起きた

「コリジョンコース現象」による事故

人間の視野の特性や、死角などが影響すると言われる「コリジョンコース現象」。対策として、交差点手前から、意識的に首を動かして左右を確認する、交差点に近づいたところで減速し、さらに周囲の安全を確認する、といったことが大切である。

このほかにも交差点には、予想だにしない数多くの危険が潜んでいる。

事故を起さないためには、隠れた危険を積極的に探すという姿勢と、的確な目の付け所を心得ておく必要がある。

価格

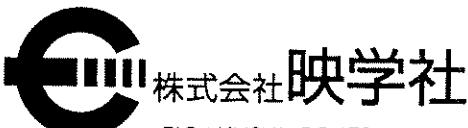
ライブラリー価格

本体 ¥70,000
(税込 ¥77,000)

制作・著作／株式会社 映学社

- DVD【カラー】※字幕版も収録されています
- 2022年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……



EIGAKUSYA CO., LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729(代表) FAX: 03-3359-4024
<https://www.eigakusya.co.jp/>